伝道が主な働きである。こ

れまで教育担当の活動は時

に応じて変化してきた。柔

(1)

2

3

定 価 1部140円(本体133円干共200円) 1年分 〒共 紙代のみ 5,000 円 3,500 円 振替 00140-9-145275

発行所 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 FAX03(3207)3918 へお申し込み下さい。 教会の購読料は負担金に含みます。

常任委員として「教育担当」

私は東京教区西南支区の

という支区の働きを担って

日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話

> 発 行 人 内編集主筆 竹 藤留幸 澤知代志 竹

# 夏に集う着者たち

2

3

4

5

6

(8)

9

(10)

の方々の助けによって継続 | ることを教えられ実感した | つながりを体験する集いを が、ここ数年間準備が整わ されてきたキャンプだった 場面であった。 は、食堂の円卓でアジアや ワークで汗を流した後

ことによって成り立ってい いがあり、昨年から栃木県 ひワークをしたい」との願 しかし、青年たちから「ぜ る。夜は二日に分けて二人 アフリカから来た実習生た きるミャンマーの女性か でいきいきとした信仰に生 初日の夜は政府の圧力の下 の話を聞くことができた。 るかを味わいながら食べ か、どれほど尊いものであ がどのように作られてきた がここでとれたものであ 外、自給自足で成り立って アジア学院では調味料以 ちに混じって食事をする。 職員の方から信仰の証しを ら、二日目はアジア学院の 普段口にしているもの 食事はとびきりおいし 完全無農薬のお米、 卵など全て 日(水)~|0日(金)ま もに生きる」とし、八月八 えます。今回はテーマを「と ャンプは今年で五四回を数 奥羽教区ユースサマーキ

ともに生きる」ことを実現するに

| ようとし、折り合いをつけ

ヤー、証しの時など盛りだ

くさんである。が、生活キ

のである。

いる。中々しっかりしたも

投下また、長崎への原爆投 にこの時期、広島への原爆 ながら、努力すること、

下を覚えると、自分たちの

フとともに参加者も大いに の下準備、片付けはスタッ ャンプでもあるので三食毎

ことが出来るだろうかと がどのように受け入れあっ 幾度かの経験者と新人達

働かなければならない。

教

学院のブログの七月二七日 寛不さい。) 加者の一人の感想がアジア ゃべりに盛り上がった。(参 るとロビーで遅くまでおし 聞いた。プログラムが終わ の記録で載っているのでご 教育担当で数年前から継 ナンの園・羊め一館を宿舎 での活動を計画させていた とし、工房アドナイ・エレ 会場を奥中山教会、カ

> リスト・イエスに倣う者と くり出すために来られたキ 日常での努力こそ平和をつ

> > 会のキッチンは人であふれ

る。玉葱に泣かされ芋に逃

始となる。教区問安師邑原 なる」を受け、キャンプ開

げられ、 えられた。

食事はその都度整

宗男議長の挨拶、カナンの

の交わり」がある。 隔月の 続されている活動に「青年 りました。スタッフは八名。 まさに若い力がたぎってお ました。参加者は中学生一 だいて実行することが出来 〇名、高校生六名計十六名、 奥羽三県、八教会から集

> 会の沿革、精神についてお 園の齊藤芳弘さんに園と教

東京教区西南支区|青年の交わり 計画している。

では昨年度の委員の一人で きてきたと思う。青年が求 地震を覚えて寄せ書きを送 者である五十嵐成見先生に あった輪島教会の信徒伝道 道者の友人をつれてくる時 った。この交わりを通して 青年たちは互いに配慮し合 ムな雰囲気、受け皿がで ウェルカムでアットホ のような時と場所を持つこ 大切ではないかと思う。こ 耳を傾ける場があることが て語り合い、お互いの声に し、食事を取り、心を開い

仰の仲間たちと会い、礼拝 ろう。それでも同世代の信 変化する。いろんなことで 年代で、参加者の顔ぶれは 悩み、傷つくこともあるだ 時代は生活の変化が大きい け、促していきたい。青年 ができるように見守り、 ちが自主的に活動すること 導かれる人もいる。 もあるし、この交わりがき っかけとなって信仰告白に 助

> れから足を運ぶ青年たちに いる青年たちに、そしてこ

できるのである。

今集って

することが求められている つとして、この働きが継続 福音を届けるための業の

出発であったが、十代の人

興味と心配とがない交ぜの

放たれて伸び伸びとする。

良い地に落ちた種がぐんぐ

ん成長していく、そんな場

たちは「それなりに」知り

された事でした。

(宮島星子報)

在していけば良いなと思わ として、このキャンプが存

と思う。

ても、支区の働きとなれば

一つの教会では難しく

アイガモの食肉処理…神妙な面持ち

そ汁が成人病

は漬け物・み 郷里の秋田で ▼数十年前、

の根本原因の

(増田将平報) させてもらうことが出来 筆者も、またここでは新人 り切りすぎても、白け過ぎ ちで参加者たちの様子を見 合っていったようである。 無理なく添っていければ良 み過ぎてもうまくない。張 割は、出すぎても、引っ込 であったので、新鮮な気持 いのである。そう、おとな ってしまう。要は、彼らと ても、なんだかなあ。とな こういう場での大人の役

たちにとってもこれは修養 現れ、今日では名産品にな 世代には、ちょっと複雑な りないよ」というテレビコ えめ」…「タンパク質が足 かも知れない。「カロリー控 糖の入らないコーヒー・紅 これは何とか我慢する。砂 品だ。▼「糖分控えめ」、 茶の方が、真の味が分かる た。撲滅運動だったと言え マーシャルを記憶している っている。みそ汁は健康食 ば少し大袈裟か。その後、 「塩分控えめ」の漬け物が ように叩かれ

関係から一時的にでも解き ってみると地域の縛りや、 路での参加者の感想では である十代の人たちが集ま 険使用無しであった事、帰 感の為体調を崩した二、三 たいと思います。 で概ねよろしかった、とし を除いて事故、怪我無く保 |楽しかった」 であった事 ともあれ、緊張や、不安 教会でいつも小さな群れ

奥中山開拓団の祈りの場であった [-いしさ控えめ」だそうだ。 究極のダイエットには「お 心境だが、仕方がない。▼ の時代、何ともややこしい。 存知につき引用省略。それ り信じ過ぎてはならない」 底振りは、「この教えをあま 描いた『失われた地平線』 同時に「おいしさ控えめ」 録三章十六節…どなたも御 と言う程…成る程。 ▼黙示 て中庸を重んじる。その徹 伝説の「シャングリア」を ▼ジェームズ・ヒルトンが 確かに、おいしいことこそ に登場する宗教は、徹底し 美食・飽食の時代は、 諸悪の根源かも知れな

# **2** 0

0

# ノキャンプ復活、アジア学院会場に

験を与えられてきた。大勢 ャンプがある。数多くの参 うことができるような活動 続けてきた働きに浜松の聖 分を知り、信仰の友と出会 軟性を持ちつつ、活動の目 会い、神に愛されている自 活の励ましを受けることだ て教会につながり、教会生 的として大切にすべきこと と考えている。 創造主と出 になれば、と願っている。 青年がこの働きを通し た。私たちにとって印象的 再開することとなった。 生活が「いのちをいただく」 きます」とは自分たちの食 会ったことである。「いただ を食肉処理する作業に立ち の日程でキャンプが行わ 養成機関である、アジア学 西那須野にある農村指導者 たちに加えてうれしいこと 院を会場にしてキャンプを に中学生二名の参加があっ 今年は七月末に二泊三日 少人数であったが青年

とびきり美味しい食事をいただいて、とびきりの笑顔 り、夕食の時を持っている。 席があった。今年は様々な 昨年は平均十五名前後の出 教会に集まり、賛美と交わ ペースで日曜の夕方に会場

教会を訪問し支区の教会の **(4**)

は新しい人と出会い、 マ『ともに生きる』の実現 拝堂の開会礼拝でキャンプ められた参加者は、まず礼

互い

松」へのハイキング、バ

の祈りの場であった「一本 作実習、奥中山開拓団三役 エレ工房での羊毛による製 う三回の全体会、アドナイ・ れているのは「集い」と言 話を聞く。三日間で設けら

頭する者もいるが、周辺に

ませるようだ。それらに没 六歳の年齢差を越えて楽し

いて雰囲気を楽しむ者もい

止でアナログの遊びはほぼ

楽しむ者ありの交流の時間 懐かしい、カードゲームを

ないらしく、話す者あり、

二回の夜は睡眠の時では

となった。電子玩具持込禁

5

6

8

9

につけてもこの夏は暑い。

# 七月三日~四日、 教団会 古事前調査作業強行に抗議文 第二回部落解放センター 員会が開催された。出席者 することに決まっていたが 運営委員会

は二七名。 四月に新しい主事が就任 事情により辞退され、新た

入ることが承認された。 担われた田中義久さん、吉 との申し出があり、人選に 川大蔵さんより、新しい方 れる。また長年会計監査を ら四年。その活躍が期待さ た。任期は今運営委員会か に小林明さん(大阪生野教 て迎えることが承認され 会担任教師)を新主事とし へ仕事を引き継いで欲しい

換しあう時も持たれた。

ーの将来について意見を交 解放劇『最初のしるし』

> 月)などの活動を盛り立て れた。第十回全国会議は一 て欲しいとの要望が寄せら 落解放青年ゼミナール」(八 礼拝」(七月第二主日)、「部 また「部落解放祈りの日

| 性愛者差別問題連続学習 落解放センター主催の「同 新しい活動としては、 部

る

報告され、また部落解放セ 会」が六月から始まってい ンター二十五周年記念礼拝 (秋までを予定) ことが

次回委員会は二〇〇八年

を十一月に東京で行うこと 模な形で強行されようとし 古沖で事前調査作業が大規 ているとの緊急情報が飛び 運営委員会席上に、辺野 会議室で開催される。 | 月二||日~二四日に教団

(6)

# 8

# 9

# 2

1





回部落解放センター運営委 議室において今総会期第二

報告などが行われ、各審議 提案を土台にして、センタ|を始めました。この原点を|ています。今年は七月八日 事職務代行から提案された 告、各教区・支区取り組み 職員雇用についての新しい 委員会では、センター報 前回、愛澤豊重総幹 特別委員会の設置を決め、 の常議員会で部落差別問題 教団として部落解放の働き 五年七月十四~十五日開催

日本基督教団は、一九七

|記念し部落解放センター

が「部落解放祈りの日」で

日の礼拝の参考にしていた 伝道所でささげられるこの

ターの小林明新主事の就任

人の譬えに基づき説教しま ルカ福音書の善きサマリア

事を囲んでの茶話会がもた

礼拝終了後、小林明新主

えてくるように思いまし

て今日の私たちの耳に聞こ 精神の宣言が、時代を越え

れました。部落解放センタ

や水平社宣言が載せられて す。式文中には祈りの言葉

いていますので、各教会・

は、七月第二主日を「部落

した。

解放祈りの日」として、全

部落解放センターは、「部

放のための祈りをお願いし 国の教会・伝道所に部落解

に掲載して配布しておりま 文を作成し、パンフレット 落解放祈りの日」の礼拝式

れ、この中で部落解放セン

解放センター活動委員)は、

弟よ」という呼びかけや、

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

(樋口洋一報)

みんなで大きな声で朗読し

礼拝の中で水平社宣言を

ました。宣言の本文に「兄

ことになります。

に部落解放の働きを進める

は新主事を迎え、また新

牧師(大阪教区議長・部落 た。説教者である向井希夫

大阪の浪花教会で開催さ

は、七月八日午後三時から

「部落解放祈りの日」礼拝

けての決意を表明しまし 明新主事は、部落解放に向

部落解放センター独自の

全国の教会・伝道所に部落解放のための祈りを

新しく主事に迎えられた小林明さん、活躍が期待される

容を変更したこと、またぜ ので、それらを検討して内 判や意見が寄せられている は、内容について様々な批 ひ各地での上演を検討して 部落解放祈りの日」礼拝 された。 〇〇八年度中の実施が承認

欲しいとの呼び掛けがなさ

抗議文を出すことと連帯へ 込み、丁寧に検討した結果、

事が出来ればとの願いと祈 より大きな力となっていく 解放運動を進めていく上で 委員会の活動が、各地での 部落解放センター及び各

浪花教会で開催。「部落解放祈りの日」式文を朗読

でした。しかしそのように

まずきを覚えながらの朗読 宣言の文字に、ある種のつ

読んでこそ、かえって、文

やできません。一九二二年

のまま受け取ることはもは

点なしに、この言葉を、そ 性差別からの自由という観 という文言が出てきます。

「男らしき産業的殉教者」

の歴史的文書である水平社

字の奥にこめられた部落差

叫び、人間解放への不屈の 別に対する根源的な怒りの

の呼びかけを全国の教会へ くる二日間となった。 り、そして決意が伝わって

(多田玲一報)

発信することが承認され

(10)

3

4

5

# 問題を取り

## 原理問題全国連絡会開催される

成立事情、教義内容、問題 エリート主義を掲げる「親 組む被害者救援組織「立 会」等の仏教系カルトの 〇一四年の冬季オリンピッ

3

4

5

6

8

地方教会では教師が孤立し

として教師を生み出すこと

掲載される予定なので、是

(宮本義弘報)

た六五〇〇人ともいわれる 合同結婚式によって渡韓し

価学会から分かれ「日蓮遺 講師に講演「仏教系カルト 明寺住職、日本脱力ルト協 増している仏教力ルト問題 青少年伝道で問題を起こし の諸相」が行なわれた。創 文原理主義」 による強引な 会代表理事の楠山泰道師を :取り上げられ、 日蓮宗大 いる「顕正会」、独特な 今回は近年被害相談が急

て統一原理問題全国連絡会 から三二名の参加者を集め 六月二五~二六日、全国

報告された。合わせて、人 態勢の中で統一協会の関与 においても現地教会の協力 敗れ、一二年の海洋博誘致 がなされた。同地は二〇一 協会問題セミナー」の報告 の舞台であり、統一協会関 気韓国ドラマ「冬のソナタ」 が排除されつつあることが 〇年の万博誘致が上海市に 市で開催された「日韓統一 絡んだ問題で四月一七~一 ○日韓国南端の麗水(ヨス) 海洋博誘致に統一協会が との報道がなされた。

相談に対応していく手がか りが与えられた。 みが紹介された。仏教関係 者との協力態勢の中で被害

う問題である。その他、 を中心にした手口が被害の 平 (チョンピョン) が時効で問えなくなるとい で記憶も鮮明な初期の被害 目された。最も被害が甚大 期の被害者にとって大きな 民法上の「除斥期間」二〇 き」についての報告では、 壁となりつつある問題が注 年が、最近増えつつある長 協会をめぐる最近の動 李春熙弁護士による「統

平昌(ピョンチャン)市の が、全国連絡会後の-OU 問題も報告され懸念された 総会で誘致失敗に終わった

誌に生々しい相談を寄せて 会員の愛読する「本郷人」 女性信者が在韓日系統一協 いる内容が紹介された。 各教区からの報告では、

が報告され、話題になった。

題や、統一協会員に乗っ取躍するジャーナリストの問 られかけている教会の問題 統一協会の手先となって暗



宮本義弘委

# 七月五日~六日にかけて 公同教会」と「合同教会」と 第2回宣教

体たる教会」の理解に触れ 教研究所の成果が各個教会 中で、研究機関としての宣 教研究所の歴史を概観する 続いて、相浦和生委員が、 であることが訴えられた。 やすく、その打開策が必要 三条の中にある「宣教の主 たのかを問うた。また、第 にどのように生かされてき える」と題して発題し、宣 めぐって。宣教の目的を考 「宣教研究所規定第三条を との表現はない」という指 の特徴」と題した二時間に 幸委員長による「日本基督 口をつけてくれた。 藤委員長の発題は、クリス 摘から展開される公同教会 亘る発題がなされた。 教団教憲に示された教会観 論は圧巻であった。この内 いるのであって、合同教会 には公同教会と明記されて 発題の中で、特に「教憲

<mark>研究所委員会</mark> る「宣研だより二一号」に マス前に諸教会に配布され 一日目の発題は、内藤留 合わせ事項を承認した。 非お読みいただきたい。

新報」のCD-ROM化の 日本聖書神学校から「教団 は、資料室規則を作成する とにした。宣教研究所が管 録として付けて発行するこ 報告され、作業面での打ち 願いが出されていることが 方向で作業中である。また、 理の責任をおっている三ヶ 所にわたる資料室について 宣教研究所規定の変遷を付 のリストと委員名簿および 約一00冊におよぶ刊行物 〇年間に委員会が発行した み」冊子発行に関して、五 員会から引き継いでいる 宣教研究所五〇年の歩 協議事項としては、前委







D維持継続

教区活動連帯金配分検討委員会

るファクターを加えること 均以下の教会をサポートす 全教会の現住陪餐会員の平 度の「配分額」計算方法に 員会において、二〇〇八年

を確認した。今回の委員会

映する計算方法が加えられ このような制度の理念を反 ることを決定した。しかし、

(3) 2007年9月8日

頼関係

が現状とどのように符合す

では金額的開きが生じる教 たものの、現状の配分金と

はその方法で試算したもの

予定である教区活動連帯金 るかを確認し、九月に開催

る。このことに対しては、 区も起こることも事実であ

配分協議会に提案するもの

を最終的にまとめるための

議会」において相互に調整

(1)

3

4

5

6

8

教 寸 新 報

(第三種郵便物認可)

第 4634 号

# 八月二五日、教団会議室 長が篠浦千史であることを 第1回障害者差別問題小委員会

問題小委員会開催された。 に於いて第一回障害者差別 委員会組織として、委員 確認し、書記に加藤幹夫を

主な議事の第一は、

委員

のために今後の委員会の取 | 会の名称変更について。こ | ではないかという意見があ 面的な差別問題に留まら り組みを協議し、教会が表 豊かにできるように願い、 根底にある心や魂の配慮を 障がいを持つ苦しみの り、レター版をやめて、「信 委員会ホームページを創設 ないか検討して行く。また 徒の友」や「こころの友」 に記事を載せることができ

> て行きたい。 信ができるよう準備を進め 教会の対応に役立つ情報発 障がいを持つ方々や諸 を招かず、交流を主とし、 定となった。今回は、講師 十七、十八日に開催する予 共に課題を分かち合う集会

第四に、全国交流集会に

になることを希望したい。

務教師の職務は「在職」を

千葉

就(担)井上

西宮北口西辞(主)山本知恵

品川区戸越二ー一一二〇

就(兼担)大平有紀

教会所在地変更

辞(担)大平有紀

就(主)渡辺正男

辞(兼担)山本知恵

五反田

教師異動

富坂キリスト教センター

触れたが、教規第一二八条 扱いについて」の答申でも

三月に出した「教務教師の

事 務

局

西宮公同 就(担)大平有紀

、南房教会となる)

(10)

(6)

8

9















## 8















## 10

# 2

3

**(4)** 

5

3



全国交流集会の名称を「『障がい』を考える全国集会」に すべての者がイエス・キリ のものを考える委員会にふ 員会の名称を「障がい」そ とを確認した。そこで、委 委員会の働きを担いたいこ なることを望みつつ、この が話し合われた。 さわしいものにしたいこと ストを主とあがめる教会に

議

あることを確認した。

二、教規の検討点に関する

教団

数会暦行事等について協

会からの報告を聞いた。

次回委員会は十月十一~

新宿西

三宅島

就(代)宣言信彦辞(代)三言信彦

用 境瀬 港

そのほか式文改訂小委員

美浜

東駒形

辞(担)加藤輝勢子

十二日とする。

(大村栄報)

聖ヶ丘

就(担)棚村恵子

広島流川

大船 鎌倉市台

11-10-10

掛川市掛川五〇二

"

就(担)杉本和生

梅光学院 辞(教)峠口 新

就(主)近藤野百合

辞(代)山口 収 就(代)麻生統一 就(主)奥田 望

成田市三里塚御料

三里塚

富里市御料||六-|

|会場にして二〇〇八年六月

戸山サンライズ(東京)を

決定した。

(加藤幹夫報)

録に関する諸規定の整備が

四谷新生

就(代)小栗善忠

就(兼主)山田忠義

富里

辞(代)山田忠義 就(代)宇野 稔

荒川区荒川五—四七—四

東京カルバリ

を踏まえて、教務教師の登

大島シオン就(主)森田好和

安藤記念 辞(担)細井茂徳

岡山博愛会辞(主)亀田昭子

就(担)稗田みどり

仁多郡奥出雲町横田

九四四

就(主)大平有紀

横田相愛

就(教)薛 恩峰

小石川白山就(担)細井茂徳

必要と思われる。

国集会」とすることとした。 を「『障がい』を考える全 を踏まえて、交流会の名称 ついて。今期委員会の趣旨

り方を検討して行くことを 交流会の持ち方や分団のあ 事前にアンケートをとって また、良き集会となるため、

師の資格を喪失する。これ 失職をした時には、教務教 から、本人が退職もしくは 必要条件とするものである

ター版はアピールが弱いの 取り組み。次回委員会で、 基に協議することとした。 加藤幹夫が発題し、これを に」のレターについて。 レ 第三は、「かがやけとも 第二は、精神障害者への

項について検討した。 が加わった。

期委員会からの申し送り事 教団会議室で行われた。辞 いないことから、左記の前 口隆康委員(東京神学大学) 任した委員の補充として山 今回も諮問が寄せられて

一、教団教会暦行事につい 制委員会は、六月二八日に 第35総会期第二回信仰職 局より) ての問い合わせの件(出版 教団としての教会暦の決

関する資料を調べる必要が 本基督教団出版局聖書日課 存在した「日本基督教団聖 体が出版局聖書日課編集委 定については、現在その主 委員会」への推移と継承に 書日課研究委員会」から「日 員会となっている。 かつて

的整備、 果を期待したい。 帯金への全教区参与への促 性を痛感している。また、 置づけの早急な実施の必要 教団執行部には教区活動連 しを要望している。 その成 この制度は「平衡資金」 教団内の組織的位 の申請手続きについて」 測するが確認を行う。 会、教区常置委員会等から 在外教師の申請手続きは教 中で生じた単純なミスと推 の申請によって就辞任の申 教会担任教師、巡回教師 ②「教務教師、神学教師

限りその職にとどまり続け の辞任手続きがなされない 退職していても、本人から これについては、

よってなされる。このため、 教師本人の教団への申請に 学教師、教務教師の決定に ついては機関決定はなく、

とした。 加えて、教区活動連帯金の 議長から発題を受けること ついて高柳竜二神奈川教区 制度の経緯と将来に 従来の協議事項に

出された議案決議に基づい 教団総会に常議員会提案で る。当委員会としては決議 て実施されてきたものであ 教区活動連帯金は第27回 う。教団政治に左右されな である。それは、各地で起 と呼ばれた時代から教区間 を同じくしているように思 会が連帯している精神と根 互助を基底としているもの い信頼関係を大事にした こる災害被害への支援に教 請手続きが行われるが、

均化することが、この制度 の経常収入の段階的サポー られる負担金負担率を現在 の理念と一致するとの認識 当たりの負担金負担額を平 において、教区活動に用い トに加算する方法を採用す 検討の結果、教会員一人 催に向けて協議した。協議 らである。 形成に資すると判断したか がよりこの制度の維持継続 に基本的に必要な信頼関係 また、「配分協議会」 開

団会議室で開催された。

一月に開催された前回委

活動連帯金配分検討委員会

七月十日~十一日に教

二〇〇六年度第三回教区

した。遺族は妻の静子さん。 九〇年まで信州教会を牧会 任教師を務め、六九年から 業。六六年から山手教会担 歳。兵庫県に生まれる。 九六〇年関西聖書神学校卒 七月十四日、 逝去。七

> 天満 八尾東

> > 辞(主)比嘉盛二郎

下妻シャローム

つくば市松代

四一四三一一一〇

就(担)本村和子 辞(主)本村和子 就(主)土谷良泉 辞(担)土谷良泉 就(主)福田英樹 辞(担)福田英樹 辞(主)山田

伝道所通信先変更

鈴木平一氏 消息 (只見伝道所主

の内、特に次の二点につい

いくつかの整備すべき点

経堂北

就(担)片岡宝子 就(担)山野里子 就(担)韓 守賢 就(担)外崎

高知

辞(担)白井 真

安中 安中市安中

南国市浜改田五三九-四

就(主)武田真治

駒場エデン就(担)山口智子

東京聖書学校吉川

辞(代)佐々木美知夫

新宿コミュニティー

伝道所所在地変更

三-|九-|〇

新宿区新宿一-七-二

藤和新宿御苑コープ

六〇

就(担)岡田はるみ

三崎町

早稲田

″

孝

就(担)海老原佳奈子

広島女学院辞(教)西垣二|

土佐嶺南

て協議した。

条の二「教規第一二八条⑤

富貴島

辞(主)安増幸子

"

就(主)池田季美枝

就(担)浅田美由紀

①「教規施行細則」第八

二八条④」の誤りであろう。 にいう無任所教師」は、

歳。福島県に生まれる。 任担任教師) を牧会した。 の後五五年から只見伝道所 業後、越谷教会に赴任。そ 九五四年農村伝道神学校卒 六月十八日、 遺族は子の恵 東調布 **灣**川 赤羽 聖蹟桜ヶ丘辞(主)紀野成喜 八王子栄光辞(担)本多峰子

辞(担)磯部佳代子

延岡使徒(就(担)中山契生

柏市中原二-一-一-

一〇二 倉橋崇方

就(担)陣内大蔵 辞(担)金子敏明 就(担)隅野 徹 就(担)大澤

宮崎清水町就(担)山口英希

就(代)明石義信 就(主)小林 辞(代)深田 就(主)本多 辞(代)大島一利 就(主)安田昌英

大和高田市大中南町

三一五

大和高田

八幡鉄町 就(主)松谷洋介

就(代)日下部克彦

上総大原

教会通信先変更

(無任所教師) 高の原 島之内 国分寺 正雀 阿佐ヶ谷 " 辞(兼担)工藤尚子 辞(兼担)稲山聖修 就(担)北中晶子 就(担)望月麻生 就(担)原田譲治 就(担)橋野高明 辞(担)橋野高明 高原

三重

百人町 新宿区市谷台町

四一一一七〇一

山谷

相模原市新磯野

四一六一一一五〇四

神

杢尾義範氏

就(担)南 豊辞(担)西尾雄二 就(担)山本知恵 辞(主)仲澤一彦 習志野・恩寵 (習志野教会となる) 教会合併 就(主)大坪直史

就(主)柴田福嗣人

沼田知子→中川知子

加藤眞衣子→髙橋眞衣子

田中知恵→山本知恵

明舞

切に祈っています。

児童クラブでは礼拝は行われま

達が、二〇〇六年度から再開した では幼稚園と共に小学生の子ども

教会学校」へと導かれることを

謝のお祈りを捧げます。「神様。

**夏休みなどに給食を食べる時、** せんが、毎日のおやつを食べる時、

は大きな声で、「アーメン」と言

2

3

4

5

6

7

8

9

ありがとうございます」。子ども達 います」、「神様。 美味しい給食を 美味しいおやつをありがとうござ

2

3

**(4)** 

5

6

7

8

9

10

イースターには、卵探しをしま

だけ伝えることができるか。

が、

るよう市より委託され、二〇〇二 旧園舎を学童保育施設として用い 咋白百合幼稚園」園舎移転に伴い、 を守っている私達の教会は、幼稚 年七月から学校法人 羽咋白百合 から約六〇名の児童が、放課後の くの児童は低学年の子ども達で 字校一年生から六年生。 しかし多 が開所されました。対象児童は小 字院により「ゆりっこ児童クラブ」 間にこの場へ帰ってきます。長 羽咋教会の関連施設である「羽 幼稚園園舎を間借りして礼拝 毎日賑やかに、四つの小学校

す。子ども達の興味が「うさぎさ ス様のお話をもっと聞きたい!」 書のお話をもう一回して!」「イエ ん」から「イエス様」に移ります。 と私のところに頼みにきたので すると、子ども達は次の週、「聖 様の復活」のお話をしてみました。 絵本ではなく、聖書から「イエス 絵本の「読み聞かせ」をしている イエス様のお話をしてよかったと 「イースターうさぎ」のお話しや、 今年は試しに、うさぎさんや 卵探しの前に、お話しタイム、 職員がお庭に卵を隠すので

であることを主に感謝し、新し

開かれ、貢献する「開かれた教会」 も私達は、こうして地域の活動に

道を探りつつ伝道の使命を確かに

「『全世界に行って、すべての造

ることはまだありません。けれど

児童クラブの子ども達が教会へ来

学童保育所を開設して四年。 私達の教会の祈りです。しか

子どもや、白百合幼稚園 です。初めて礼拝を守る ります。年に一度の礼拝 クリスマスにはクリス 礼拝を守 ます び」を灯し続けていきたいと思 エスの言葉を携え、能登半島の地 主題聖句です。全世界に行って福 られたものに福音を宣べ伝えなさ として、小さいながらも「ともし 音をあまねく宣べ伝えよとの主イ に主の福音を伝える「福音の灯台」 。」」(マルコによる福音書16章15 は、二〇〇七年度の羽咋教会

ら二七日にかけて教団会議

諸教会」に対してどのよう

」で終戦を迎えた。

「自分の所属する教区内の

戦犯となった大川周明だった。

大学時代の恩師は、後にA級

溪国学生連盟に属し、 日曜はど

共に受洗した。

炭坑伝道の志を

神様の導きが自分に信仰者

くべき方向を示してくれる。「あ としての餓えや渇きを与え、行

二〇〇七年六月二六日か

マス会を行い、

園こそが「伝道の場」であると信

来ることを「伝道の幻」として描 希望に向かって」歩んでいるので 私たちは常に前を向き、「終末の 子ども達が教会に群がる日の 十五名程の小さな群れの私達

歌を歌います。いつもや のお話を聞きます。讃美 もが、みんな一緒に神様

で礼拝を守ってきた子ど

んちゃな子ども達が、

ع

ても真剣です。

いつの日か聖日には礼拝者で溢 の教会にも、神様の導きにより、 クリスマス礼拝

に、ほぼ毎日のようにや

子ども達は牧師の部屋



の)を全員で朗読

# めてまりめ

報

## 開かれた教会として

内城 恵 羽咋教会牧師

なのに、十字架が少ないねぇ」 がらやって来ます。また、病気で 時には、友達と喧嘩をして泣きな 等々。教会や聖書に興味津々です。 どこまで読んだの?」「こ ってきます。「ねえ、聖書 教会なんでしょう。

えながら歩んでまいりました。今じ、そのためにいつでも祈り、支

が、 今こそ子ども達 中に入れられてい スや課題を抱えて と質の違うストレ 神様の招きの

やって来る。現代の子どもは、 体を休めるためにやって来る。友 とれない子どもが、宿題をもって 達とうまくコミュニケーションの 昔

る、この事をどれ

ゆりっこ児童クラブ 2006 年クリスマス会

## 隠退教師を支える運動 全教区推進委員会

の後、四月に行った第38総 開催した。出席者は各教区 会期第一回推進委員会の報 名。 
陪席者として教団総幹 及び東京各支区の推進委 動・全教区推進委員会」を 室で「隠退教師を支える運 一〇〇六年度の事業報 変澤総幹事職務代行の挨拶 にだいた。<br />
多田信一委員長・ 職務代行より「聖霊によっ 事・池田浩二、同業務室長 金局理事長・髙橋豊、同理 事職務代行・愛澤豊重、 て生かされる」(ローマ7章 櫻井淳子の四氏を迎えた。 ・~6)と題する説教をい 開会礼拝では愛澤総幹事 事務担当者の合計二八 年 初めて出席した委員も質問 どのように推進活動をして るかを報告するプログラム 教団年金に関する発言があ り 業状況」について解説があ 事長から「教団年金局の事 と抱負を述べた。 合う大切な報告会である。 分の活動の参考にしよう 与えられた賜物を生かして 環境の中で委員一人一人が な方法と手段で推進してい と、お互いにじっくり聴き いるのか。それを聴いて自 である。それぞれ異なった 二七日には髙橋年金局理 池田年金局理事からも また櫻井年金局業務室

の時期である。

私たちのビジョン」(これは て「隠退教師を支える運動・ 隠退教師を支える運動の基 の現状報告があった。そし 度の計画額及び四月~五月 舌・決算報告・二〇〇七年 文区)の推進状況について **客員全員よる活動報告があ** 4理念として持っているも った。同じ目標に向って推 活動をしている各委員が 一(東京各 目をむかえるかについても 総会で「隠退教師を支える ら、どのようにして三〇年 教会のご協力のもとに続い 動」としての献金活動が諸 年の節目を迎える。「信徒運 議されてから、来年は三〇 運動・一〇〇円献金」が決 持って終了した。 ていることの感謝を憶え乍 一九七八年の第2回教団 報

の一つに「多様性」がある。 のいろいろな会合で耳にする言葉 教区総会や常議員会はじめ教団 耆であったことから、 キリスト

<u> . Ուներ ՈՄԻ ՈՒՄԻ ՈՄՈՒ ՈՄԻ</u>

願っている。

で博多に移住。上司がキリスト 夫人と

隣の炭坑で婦人部長をしていた う」との思いをぬぐえなかった。 された。昭和二〇年。ソ連参戦 の運動にも触れたが、「どこか違 倉の炭坑に向かった。 労働組合 により、北海道稚内へ赴き、そ <u>い。子夫人と出会ったのも、</u> **護が不可欠との思いから、** 素で軍に入り、 アッツ島に配属 フ巻きに参加した。 繰り上げ卒 炭坑をやめた後、技術屋とし 敗戦から立ち直るには経済の 与えられ、 望の村」を設立。困難もあり、 れた。一九八二年、それらの経 登校、依存症 無謀との声もある中で「祈れば 験の結実として、八丈島に「希 し、羽仁もと子氏の考え方に触 働いた。子供が自由学園に入学 音ルーテル教会の牧師館で生活 しながら、伝道所設立のために 直方(のうがた)福

改め、懺悔し、求める事で全て

みはただそれに尽きると言う。 が与えられてきた。 今までの歩

神様に嘘はつけない」本当に

の任命が与えられたら、砕かれ こまで導いてくれた。本当に主 に与えられた命令が、自分をこ そこへ行け、ここへ行け」神様

た心でそこに向かうしか道はな

餓え渇きながら必死に悔い

題を抱える人々との生活が始ま 聞かれる」 と信じて始めた。 不 それよりも愛を実行する事が大 細かい議論は信仰に関係ない。 供達」との交わりは続いている。 った。今も入居者であった「子 「神学論議は嫌いだ」と言う。 神経症などの問

るか、大切なのはそれだけ。こ

れからも、自分を誇らず、神様

に祈る生活を続けてゆきたいと

砕かれた心であるか、求めてい

宮腰定治さん

## 餓え渇きに道を 示され



八丈島教会員。1922年生まれ

の言葉は「なんでもあり」の同義 といえば当然だろう。 ドの「多様性」があるのは当然 合同教会たる教団としてキーワ しかし、よく考えてみよう。こ う。 ころに基づいて ィリピ3章16節)となるのであろ にせよ、わたし たちは到達したと ように、多様性と分裂の相違にも 你

性

致の中から生ずる恵みの果実なの 語ではない。多様性とは信仰的 告白においては一致している。 そ して証しはまさに多様で「いずれ う言葉こそ教団の合言葉だ。 信仰 「信仰は一つ、証しは多様」とい 多様、証しは ける。かくして画一化がおこる。 も「キリスト者ならこの政治社会 的課題に反対すべきだ」ときめつ 一致と画一化と 復活を信じ 区別せねばならぬ なくてもいい、で つ」になりかねな

しかし、ややもすれば「信仰は 進むべきです」(フ 注意せねばならぬのではないか。 を来たらせていることに無感覚で 寧に用いなくてはならない。教団 仰の不一致ゆえに殆んど分裂状態 あってはならない。 多様性という言葉もかくして丁 多様性といっているが、実は信

軸に貫かれてこそ、水平の線、ヨ るのだろうか。 受していく。これは偏狭な教条主 コ軸としての多様性の豊かさを享 の信仰告白という垂直の線、タテ 義者が口にするタワゴトだと言え

教団総会議長 山北宣久)

(10)